



平成 22 年 7 月 26 日

各 位

東京都目黒区青葉台三丁目 6 番 16 号

株式会社 B B H

(URL <http://www.bbanc.co.jp>)

代表者名 代表取締役社長 大島 剛生

(コード番号: 3719)

問合せ先 管理本部長 江口 航

電話番号: 03-5456-3051

平成 22 年 12 月期第 2 四半期累計期間業績予想との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 22 年 2 月 12 日に公表いたしました平成 22 年 12 月期第 2 四半期累計期間（平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日）の業績予想との差異、及び平成 22 年 12 月期通期業績予想を最近の業績の動向を踏まえ、下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間の業績との差異（平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日）

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	643	△20	△20	△22	△2 円 44 銭
今回実績値 (B)	596	△24	△23	29	3 円 23 銭
増減額 (B-A)	△47	△3	△2	51	—
増減率 (%)	△7.33	—	—	—	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 12 月期第 2 四半期)	643	△275	△274	△260	△28 円 72 銭

2. 平成 22 年 12 月期第 2 四半期個別累計期間の業績との差異（平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日）

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	31	△75	△71	△72	△7 円 97 銭
今回実績値 (B)	31	△61	△56	15	1 円 73 銭
増減額 (B-A)	0	13	15	87	—
増減率 (%)	0	—	—	—	—

3. 第 2 四半期累計期間業績予想との差異理由

前連結会計年度終盤より、企業の設備投資意欲は徐々に回復の兆しを見せており、当社の主要事業であるコンサルティング事業においても、受注及び業績の回復が見られるものの、国内の政情不安や南欧に端を発する新たな国際経済の先行きの不透明感から、その回復の進捗は当初の想定よりも鈍化したものとなりました。また、引き続き当社の訴訟等の状況を受け、平成 22 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間の連結売上高は 596 百万円（前回予想比 47 百万円減）となりました。

このような状況の中、業務の効率化、人件費の抑制等全社を挙げてコストの削減に努め、連結営業損失及連結経常損失はそれぞれ前回発表予想に相当する 24 百万円及び 23 百万円となりました。連結四半期純利益におきましては、平成 22 年 6 月 1 日付け「特別利益の計上に関するお知らせ」にて開示しておりますとおり、当社が株式を保有いたします事業法人に

において残余財産の一分配が実行され、当該残余財産の一分配により 49 百万円の特別利益が計上された事を主たる理由として、黒字化され、29 百万円（前回予想比 51 百万円増）の純利益を計上することとなりました。

また、個別業績におきましては、売上高が前回発表予想通りとなり、営業利益、経常利益は経費削減の効果により一定の赤字圧縮を実現し、それぞれ売上高 31 百万円、営業損失 61 百万円、経常損失 56 百万円となりました。

コスト削減による赤字圧縮、連結業績の差異説明に記載いたしました特別利益の発生その他に、連結納税制度におけるグループ内各社の個別帰属額の収受が 22 百万円発生したこと等により、四半期純利益は 15 百万円（前回予想比 87 百万円増）となりました。

4. 平成 22 年 12 月期通期連結業績予想の修正（平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,304	4	4	2	0 円 22 銭
今回発表予想 (B)	1,253	4	4	51	5 円 73 銭
増減額 (B-A)	△50	0	0	49	—
増減率 (%)	△3.87	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 12 月期通期)	1,166	△373	△375	△304	△33 円 58 銭

5. 平成 22 年 12 月期通期個別業績予想の修正（平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	80	△128	△119	△150	△16 円 66 銭
今回発表予想 (B)	76	△120	△111	△46	△5 円 18 銭
増減額 (B-A)	3	7	8	103	—
増減率 (%)	△4.09	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 12 月期通期)	181	△161	△148	△147	△16 円 31 銭

6. 通期業績予想の修正理由

国内外の現在の経済情勢等から引き続き緩やかな回復となる事が見込まれる中で、更なる営業努力及びコスト削減努力、訴訟の早期解決による関連費用の削減努力を実施し、当社の通期業績予想を上記の通り修正いたします。

連結売上高については、第 2 四半期までの実績及び経済環境の影響を踏まえた今後の売上見込みに基づき、125 百万円（前回予想比 50 百万円減）を見込んでおります。売上の減少の影響はコスト削減により極小化し、連結営業利益及び連結経常利益はそれぞれ前回発表予想値を据え置きとさせていただきます。連結当期純利益の見込につきましては、第 2 四半期の特別利益の影響を加味し、51 百万円（前回予想比 49 百万円増）とさせていただきます。

個別業績予想につきましては、想定と大幅な乖離なく進捗するものと想定しており、売上高 76 百万円（前回予想比 3 百万円減）となる見込みであります。営業損失及び経常損失につきましては、法務対応費用等の追加計上が見込まれるものの、引き続き当社単体での経費削減を実施し、それぞれ 120 百万円（前回予想比 7 百万円増）と 111 百万円（前回予想比 8 百万円増）とさせていただきます。当期純損失につきましては、特別利益等の第 2 四半期までの実績及び連結納税制度におけるグループ内各社の個別帰属額収受の第 3、第 4 四半期分 23 百万円を加味し、46 百万円（前回予想比 103 百万円増）を見込んでおります。

なお、上記平成 22 年 12 月期通期連結業績予想及び個別業績予想に関しましては、本資料発表において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上